

令和4年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：コムギ黄斑病（No. 2）

令和5年3月1日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

2月27日現在、県内の一部の地域でコムギ黄斑病の発生が確認されている。ほ場の見回りなどを行って早期発見に努め、状況に応じた対応を行う必要がある。特に令和3年播きコムギにおいて本病が多発生したほ場では、発生状況に注意する。

2 防除対策

- ・赤かび病の1回目の防除時期（開花始～開花期）までに病斑が確認される場合は、上位進展前にチルト乳剤25等を散布する。
 - ・ワークアップフロアブル等により赤かび病との同時防除を行う。
- ※特に令和3年播きコムギにおいて本病が多発生したほ場では、発生状況に注意する。

3 防除上注意すべき事項

- （1）本病の一次伝染源は被害残渣であり、下位葉に発生したのちに上位進展する。
- （2）一般的に前作が畑作物のほ場やコムギ連作ほ場は、前作が水稻のほ場と比較して、発生が多い。
- （3）防除に当たっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。



【参考】発生初期の病斑